

【NEWS RELEASE】

2021年2月2日

SMBC日興証券株式会社

日本プロロジスリート投資法人のグリーンエクイティ・オフアリング実施のお知らせ

SMBC日興証券株式会社は、この度、日本プロロジスリート投資法人(執行役員:坂下 雅弘、本社所在地:東京都千代田区、証券コード:3283、以下「本投資法人」)がグリーンエクイティ・オフアリングとして実施した公募増資の引受けにおいて、グリーンエクイティ・ストラクチャリング・エージェント及びジョイント・グローバル・コーディネーターを務めましたのでお知らせいたします。

プロロジス・グループは、良き企業市民として環境への取り組み(Environmental Stewardship)、社会貢献と企業としての責任(Social Responsibility)、企業倫理とガバナンス(Ethics and Governance)(以下、これらを総称し「ESG」)を3本の柱として、社会のサステナビリティに配慮した企業活動を展開しています。また、その一員として本投資法人は、2018年8月及び2020年4月にグリーンボンドの発行を行うなど、資本市場へESG投資の機会を提供することにより、プロロジス・グループが目指すサステナビリティをより一層社会に浸透させ、低炭素社会の実現に貢献することを目指しています。

上記の取り組みを一層推進すべく、本投資法人は、今般、グリーンエクイティ・フレームワーク(以下「本グリーンエクイティ・フレームワーク」)を制定し、それに則って今回のグリーンエクイティ・オフアリングを実施しました。本グリーンエクイティ・フレームワークは、「グリーンボンド原則(Green Bond Principles)2018年版^{*1}」(以下「グリーンボンド原則」)に定める4つの核となる要素(1. 調達資金の使途、2. プロジェクトの評価及び選定のプロセス、3. 調達資金の管理、4. レポーティング)を参照して制定されています。また、本投資法人は、本グリーンエクイティ・フレームワークの制定にあたり、DNV GLビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社^{*2}より、本グリーンエクイティ・フレームワークが、グリーンボンド原則等で定められる4要素の主要な要件に適合している旨のセカンドパーティ・オピニオンを取得しています。

本投資法人は、グリーンエクイティ・オフアリングを実施することにより、本投資法人のESGへの強いコミットメントを示すと同時に、ESG投資に強い関心を持つ投資家の需要を一層喚起し、本投資法人の投資家層の更なる拡大及びエクイティ資金調達力の中長期的な強化を実現することを目指しています。

いっしょに、明日のこと。
Share the Future

SMBC日興証券

当社は、2018年9月に「SDGs ファイナンス室」を新設する等、環境問題や社会問題の解決に資するファイナンスニーズの捕捉及び ESG の推進に積極的に取り組んでおります。当社は、今般のグリーンエクイティ・オフリングの引受けが、当社のグリーンファイナンス及び SDGs ファイナンスに係る知見を示すと同時に、日本における ESG 投資、ESG をテーマとした金融商品の更なる拡大に繋がるものと考えております。また、当社は、グリーンエクイティ・オフリングの引受けを通じて、SDGs に掲げられた目標のうちの 2 つ、すなわち「エネルギーをみんなに そしてクリーンに」及び「気候変動に具体的な対策を」の達成に貢献していきます。



- ※1 国際資本市場協会が事務局機能を担う民間団体であるグリーンボンド原則執行委員会 (Green Bond Principles Executive Committee) により策定されている、グリーンボンドの発行に係るガイドライン。
- ※2 1864年に設立されたノルウェー王国の首都オスロに本部を置く ESG 評価における第三者評価機関である DNV GL の日本法人。環境省のグリーンボンド発行支援者登録者(外部レビュー部門)や、低炭素経済に向けた大規模投資を促進する国際 NGO である気候債券イニシアチブより認定を受けた検証者としてグローバルに活動し、国内外で多くの検証報告書やセカンドパーティ・オピニオン提供実績を有する組織。

以上